

Q 高齢化や財政難など、地方では何が一番問題になっているの？



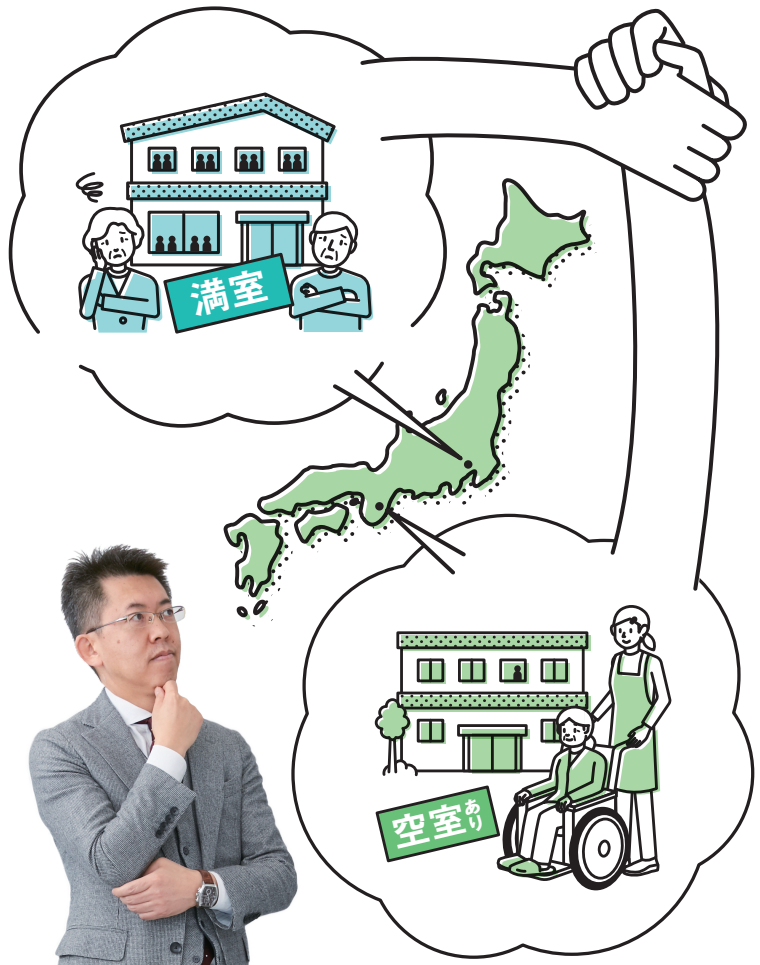
**地域によって抱える問題はさまざま。
地域ごとの問題点を明らかにしていきます。**

都市部ではなぜ老人ホームが不足している？

日本では、地方自治体ごとに行政と財政のあり方は異なっています。その違いにどのようなものがあるかをテーマに研究。住民の生活に必要な施設などが各地域で充足、もしくは不足しているのかなどを調べ、その実態を明らかにしていきます。たとえば、高齢者ひとりあたりの老人ホームの数。都市部では少なく、地方・農村部では充実している構図が一般的です。これは、老人ホームを作るには、ある程度の土地と建物が必要となるため、都市部よりも地方・農村部に作りやすいから。これにより、大都市に住む人ほど、自分の街から離れた地域にある施設に入居することが多くなる傾向がみられます。

各地域の実態を把握することで、そこにある問題が見えてくる。

さまざまなデータや情報と現実を照らし合わせることで、「今社会で何が起きているのか？」を正確に把握していくことが、この研究の楽しさ。老人ホーム不足や介護職の人材不足、市町村合併による地方行政財政の再編など、生活に関わる身近な問題を取り扱っているのもおもしろいところです。国の画一的な施策と自治体ごとの実態との間に生じているずれを解決するためにも、今後も地域ごとの違いを正確に把握し、それらが指し示す問題を社会に提言できればと考えています。



杉浦 真一郎 先生

Sugiura Shinichiro

高校生のころから、地理学に興味があり、大学で地理学を専攻。おもしろい先生や先輩方がいて、授業以外の時間も研究室に入っていました。その結果、気がつけば研究の道に。楽しみながら粘り強く研究することを大切にしています。

私の気分転換



大学のアメフト部の試合観戦が気分転換。

名城大学アメフト部「ゴールデンライオンズ」の試合の観戦が気分転換です。名城大学のアメフト部は、東海地区のリーグ戦で毎年優勝争いを演じています。いろいろなグッズもあり、それらを持って応援に出かけています。